



第 66 号

発行人
福 井 県 剣 道 連 盟
理事長 市 橋 和 廣

事務局
〒910-0015 福井市二の宮2-3-7
榎マルツ電波二の宮店 付属舎
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkickendo@herb.ocn.ne.jp

ご挨拶

福井県剣道連盟

会長 土谷靖彦



新年明けましておめでとうございます。平成二十二年の年頭に当たり、謹んでお喜びを申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返ってみますと、なんといっても、十月の新潟国体において本県成年女子チームが五位入賞というすばらしい結果を残されたことが上げられます。平成八年度の広島国体での成年男子の五位入賞以来、長らく国体の入賞から遠ざかっていた本県剣道界にとって、誠にうれしいニュースでした。これは監督・選手はもちろんのこと、選手強化・選考専門委員会を中心に、選手強化に取組まれた皆様の努力の賜物だと思えます。強化訓練や県外遠征など毎週強化を重ねた結果が実を結んだと言えるでしょう。改めて感謝と敬意を表します。

そして現在は、すでに今年秋の千葉国体に向けて、強化指定選手を選考し、強化を行っています。今年も多くの選手が成果を出されることを期待いたします。

また、昨年は平成三十年の福井国体の開催に向けて、具体的な動きが始まった年でもありました。年明けに西川知事が国体の誘致を

表明され、七月からは新たに設置された国体ビジョン策定委員会において、「福井国体ビジョン」（基本構想）のとりまとめを行っています。

県剣道連盟におきましても、今後、準備委員会の設置など具体的な準備作業に着手し、資金面や選手強化策について検討を進める必要があります。役員をはじめ皆様方のご協力をお願いいたします。

今年の事業としては、昨年八月にブラジルで開催された「世界剣道選手権大会」で団体戦優勝および個人戦優勝を果たした寺本将司選手（大阪府警）を招聘し、世界一剣道教室を二月十一日に開催します。ぜひ多くの皆様に世界一の技と心を間近で感じていただきたい思います。

また、今年四月から級位審査規則を改正し、一級から三級の審査に「木刀による剣道基本技稽古法」を採り入れます。これは、全剣連が、きたるべき中学校での武道必修化に向け、集団指導の教材として「木刀による剣道基本技稽古法」を採り入れることを視野に入れ、同稽古法を審査に採り入れた剣道級位審査規則を昨年六月に制定したことを踏まえたものです。新たな審査体制を整える準備も必要になりますが、各地区連盟の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

今年が昨年にも増して飛躍の年となりますよう、皆様のみましますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



福井県剣道連盟
剣道・居合道
初稽古の様子

平成二十二年一月十日(日) ● 県立武道館



▲ 剣道形



▲ 神事



居合▶

▼ 素振り



賛助会員御芳名

企業等

| | | |
|--------------------|---------|----------|
| 株式会社 マルツ電波 | 代表取締役社長 | 土谷 秀靖 様 |
| 医療法人 保仁会泉ヶ丘病院 | 理事長 | 神谷 保男 様 |
| テクノス株式会社 | 代表取締役会長 | 岩崎 貞夫 様 |
| 株式会社 法美社 | 代表取締役社長 | 木下 雅俊 様 |
| 株式会社 ウララコミュニケーションズ | 代表取締役社長 | 三田村 浩實 様 |
| メディアボックス株式会社 | 代表取締役社長 | 佐々木 明人 様 |
| 大栄電設工業株式会社 | 代表取締役社長 | 北谷 佳久 様 |
| 千寿会医療福祉グループ | 理事長 | 片山 外一 様 |

個人

| | |
|---------------|----------------|
| 衆議院議員 稲田 朋美 様 | 参議院議員 山谷 えり子 様 |
| 石橋 壮一郎 様 | 細田 善二郎 様 |
| | 山口 武津雄 様 |

国体で成年女子が

5位入賞

県勢女子初の快挙!

平成二十一年十月四日(土)
於 新潟県長岡市栃尾体育館

「悲願の初勝利」

新潟県で開催された第六十四回国民体育大会(トキめき新潟国体)の剣道競技成年女子の部において、本県チームが見事、第五位入賞を果たしました。本県勢の女子が国体で入賞したのは、成年、少年を通じて初めての快挙です。出場した選手や監督、関係者の方に拍手を送りたいと思います。

国体出場三回目を数える本県の成年女子チームの三人にとって、「国体一勝」は大きな目標であり悲願でした。二十代の先鋒、三十代の中堅、四十代の大将で構成される団体戦では、個人の力はもちろん世代を超えたチームワークとお互いを信頼する心が求められます。

一回戦は、宮城県との対戦となりました。まず先鋒の細川梨絵選手(五段・文化女子大付属杉並中学校・高校)が得意の面で一本勝ちを納め、チームを勢いづけました。「素晴らしい気迫で、一瞬のすきを逃さなかつ

た」というのは監督の山本英俊先生。続いて、中堅の高嶋寿美選手(五段・福井南養護学校)は惜しくも敗れましたが、大将の道内由里里選手(六段・金井学園)に思いを託します。

その道内選手。「あの状況で落ちていた」と山本監督がいうとおり、相手の隙を見逃さず、思い切った飛び込み胴を決め、見事勝利を呼び込みました。

国体前には、細川選手が東京から駆けつけて合宿に参加するなど、結束を固めてきました。「入賞は三人の輪でつかみました。とてもうれし



す。続く準々決勝は、強豪の東京都(その後、優勝)に敗れましたが、勝つという気持ちを前面に出し、三人ともよく健闘しました。ぜひ私たちも、彼女たちに続けるよう、日々精進したいものです。

▽試合結果

・一回戦

| | | |
|------|------|------|
| 福井県 | 2-1 | 宮城県 |
| (先鋒) | ○細川メ | 深堀 |
| (中堅) | 高嶋 | —コ |
| (大将) | ○道内ド | —五十嵐 |

・準々決勝

| | | |
|-----|-----|-----|
| 福井県 | 0-3 | 東京都 |
|-----|-----|-----|

第64回国民体育大会剣道競技 成年女子入賞報告会・稽古会

平成二十一年十月二十五日(日)

| | | |
|------|----|--------|
| (先鋒) | 細川 | —メメ石突○ |
| (中堅) | 高嶋 | —メコ鈴木○ |
| (大将) | 道内 | —メ牛木○ |



本年、新潟国体で五位入賞を果たした成年女子の報告会前に、県立武道館において強化訓練にあたって下さった先生方をはじめとし活気溢れる稽古会が行われました。午後からは福井パレスホテルに場所を移し、昼食会を兼ねた報告会が



行われました。
 土谷会長からは入賞のお祝いとお労いの言葉がかけられました。また、山本監督、道内選手、高嶋選手、細川選手が壇上に上がり、土谷会長から防具袋・竹刀袋が記された目録が手渡されました。監督、選手の言葉からは、本団体出場にはまず、北信越国体を勝ち抜かなければならないプレッシャーと、それに打ち勝ち入賞された力強さと精神力、チーム力が感じ取られ、成るべくして成った五位入賞であったと確信いたしました。

ご参加下さった約五十名の先生方、仲間達から次々とお祝いの言葉や美酒が注がれ、たいへん賑やかな会となりました。ベテラン女性剣士の

「これからの福井県女子剣道がさらに盛り上がっていく雰囲気がある」と頼もしい言葉も聞かれ、さらに上位を目指すべく稽古に励みましよう！と誓い合い記念写真を撮りました。

今後も女性委員会を中心に一丸となって精進して参りますので、ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

試合結果

第4回福井県中体連

秋季新人競技大会 観戦記

平成二十一年十月三十一日(土)
 於 敦賀市中郷体育館

今回で第四回目となる秋季新人競技大会は、県内七地区の代表校が団体戦に出場し、個人戦は男女それぞれ全学年の部、一学年の部の二部門で争われた。

▽男子団体戦

決勝トーナメント以降

・準決勝
 武生第一中 6 / 3 | 4 / 2 明倫中
 松陵中 5 / 3 | 3 / 1 鯖江中

・決勝
 武生第一中 3 / 3 | 2 / 2 松陵中



決勝戦は、ともに各予選リーグを一位で通過してきた武生第一中学校と松陵中学校の対戦になった。

先鋒戦は、武生一中の小河選手が開始早々、面に飛び込んだところ、松陵中の村井選手が見事な返し胴で一本勝ちをおさめた。次鋒戦、互角の攻め合いが続き、延長戦に突入。両者がつれ合い審判の宣告で開始線に戻り、試合再開直後、武生一中の大橋選手が面を取った。両チームにとって、試合の主導権をとるための大切な中堅戦。松陵中の松井選手は、しっかりと自分の打ち間まで入

り、相手が出てくるところを面ですらえ一本勝ち。

後がなくなった武生一中は、副将西森選手が小手の一本勝ちで粘りの一勝をあげ、続く大将戦、武生一中の京藤選手が、試合終了間際、松陵中竹田選手が面に出たところを返し胴で一本をもぎ取り、武生第一中学校は、悲願の初優勝を収めた。

▽女子団体戦

・準決勝

三方中 5 / 3 | 1 / 1 足羽第一中

清水中 3 / 2 (代表勝ち)

| 3 / 2 中央中

・決勝

三方中 6 / 4 | 1 / 1 清水中

決勝戦は、三方中学校と清水中学校の対戦となった。先鋒戦は、三方中の鈴木選手、清水中学校の山本選手はそれぞれ技を繰り出していき、延長戦へと突入した。じれて面を取りにきた鈴木選手の出ばなを山本選手が捉え、小手の一本勝ちをおさめた。

続く次鋒戦は、地力に勝る三方中学校の百田選手が強気で攻めて面の一本勝ち。中堅戦は、連続技で攻める清水中学校の野村選手に対して、

相手の隙を果敢に攻める三方中学校の中西選手の対戦。小手を狙いにきた野村選手に対して、中西選手が小手返し面で一本をもぎ取った。後がない清水中であつたが、三方中学校の副将藤本選手、大将小堀選手が両者二本勝ちをおさめ、三方中学校は三年連続三回目の優勝を飾った。



- ▽男子個人戦
- ・全学年の部
- 優勝 梅田 圭仁 (藤島中)
- 2位 長谷 魁人 (三方中)
- 3位 安藤 良祥 (三方中)
- 3位 西川 祥平 (明倫中)

- ・一学年の部
- 優勝 池田 佳樹 (三方中)
- 2位 松平 悠志 (藤島中)
- 3位 高野 将宏 (東陽中)
- 3位 河原 悠真 (三方中)

- ▽女子個人戦
- ・全学年の部
- 優勝 山本 佳那 (清水中)
- 2位 小堀 理絵 (三方中)
- 3位 加藤 有紀 (中央中)
- 3位 吉長 綾香 (鯖江中)

- ・一学年の部
- 優勝 桐生 菜緒 (三国中)
- 2位 藤本 奈々 (三方中)
- 3位 坂本 菜子 (三方中)
- 3位 古河 望美 (中央中)

**平成21年度
福井県実業団柔道剣道大会**

平成二十一年十一月一日(日)
於 県立武道館

県内の企業、団体等に所属する選手による実業団大会柔道剣道大会が、今年も県立武道館で開催されました。剣道の部には、団体戦の五人制に十八チーム、三人制に十六チームが参加し、個人戦を含めると合計一六二名の選手が熱戦を繰り広げました。

Aブロック(五人制)では、関西電力(株)が十六年ぶりの優勝を果たしました。

- ▽団体の部
- ・Aブロック(五人制の部)
- 優勝 関西電力(株)原子力事業本部
- 二位 堀田商店
- 三位 福井刑務所B



- ・Bブロック(三人制の部)
- 優勝 (株)アイビックス
- 二位 北陸電力(株)福井支店
- 三位 堀田商店



- ▽個人の部
- ・男子三段以上
- 優勝 中村 好伸 (福井刑務所)
- 二位 菱田 尚人 (日華化学(株))
- 三位 中野 利彦 (東洋紡(株))

- ・男子二段以下
- 優勝 村井 達弥 (東洋紡(株))
- 二位 南北 直輝 (日華化学(株))
- 三位 野口 祐司 (株)村田製作所

- ・女子三段以上
- 優勝 谷口 典子 (信越化学工業(株)武生工場)
- 二位 鳴崎さおり (福井大学文京キャンパス)
- 三位 池端 和恵 (東レ・ダウコーニング(株))

・女子二段以下

優勝 古河 公代

(東山会鯖江ケアセンターみどり荘)

二位 土田 沙織 (アイテック(株))

三位 宮口茉依子 (東洋紡(株))



第57回全日本剣道選手権大会

平成二十一年十一月三日(火)

於 日本武道館

新田 雅和

この大会は、剣道日本一を決める大会であり、自分自身も「生涯一度は出場したい」という憧れの大会でした。

日本武道館では全日本剣道選手権大会以外で何回か試合をしましたが、

試合会場に立ってみると、今までとは全く違う雰囲気です、さすが日本一を決める大会であると痛感しました。対戦相手は、佐賀県の古川選手で、お互い有効打が無く五分が過ぎ、延長戦に入り、思い切った面といったところ、返し胴を決められ試合が終わりまりました。

しかし、自分自身では全てを出し切ったという充実感があり、素晴らしい経験ができました。

今後も日々稽古に励みたいと思いますので、御指導御鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

・一回戦

新田(福井) ー ド 古川(佐賀)

平成21年度 福井県福井市 地方青少年剣道錬成大会

平成二十一年十一月七日(土)

～ 八日(日)

於 県立武道館

標記の大会が、大阪府警察名誉師範・島野泰山師範士八段と警視庁名誉師範・浅野修範士八段をお迎えして、約二五〇名の小中高生の参加を得て二日間の日程で行われました。

最初の講演では、島野先生より「挨拶などの礼儀面はもちろん、剣

道で学んだことを普段の生活に活かしてほしい」と、剣道を学ぶののではなく剣道で学ぶことの重要性についてお話がありました。ゆつたりとしたユーモラスな口調で、小学生にもわかりやすい内容のお話でした。

講演の後は、中学生と小学生に分かれて実技指導をいただきました。立ち方・座り方といった基本中の基本から細かく教えていただきました。小学生にはきついか、という量の素振りや基本の打ち込みでしたが、練習方法に変化を持たせ、子供たちを上手に褒めながらの指導が、辛さを感じさせませんでした。

二日目は「木刀による剣道基本技



「稽古法」を指導していただきました。要点を押さえた繰り返し練習で、初めての子供でも少ない時間で覚えることができました。午後からは、主に出ばな技と応じ技の実技練習を行いました。ここでも、上手な子供を見本にし、やる気を引き出す指導で雰囲気の良い稽古になっていました。

また、一般向けにも、錬成会終了後に稽古会を持っていただき、快く了承していただきました。約一時間の稽古時間があつという間に感じられるくらい、熱のこもった稽古会になりました。

今回は実績・指導歴ともに日本のトップクラスの両先生に直接指導していただく機会を得ることができ、本当に充実した二日間になりました。心より感謝を申し上げます。

全国警察選手権大会に出場して

福井県警察機動隊

鈴木 秀典

全国警察選手権大会は私自身初めての出場となった。試合前、警視庁や大阪府警といった有力選手の練習風景を横目に見ながら、これらの選手に肩を並べてこの大会に出場出来た喜びを感じていた。試合は個人戦であり、時間無制限の一本勝負といった独特のルールであるがゆえに、試合開始数秒の間に決着がつくこともしばしば見受けられ、初太刀一本の大切さを身に沁みて感じた。近年同大会は、全国警察大会(団体戦)の二週間前に開催されることから稽古量は充分であり、心身共に万全の態勢で臨むことが出来たはずであった。

私の初戦の相手は千葉県警察の高橋選手であった。相手は私よりも若くスピードもあつたことから無理な体勢から技を出すのではなく、じっくり攻めて自分の得意な局面から一本を狙うことにした。試合はお互い決定的な有効打突もないまま十分、二十分が経過し、三十分に及んだところで私が一瞬居着いた瞬間、相手に面を痛打され敗北に至った。恥ずかしい話ではあるが相手選手が飄々とした顔で試合をする中、私の体力

は底を尽き、私の腕と足は鉛のように重く感じられ、もはや集中力も途切れていた。

私はこの大会に出場し、多くの課題を見つけることが出来た。スピード、体力、気力といった全ての面で鍛え直す必要があると痛感させられた。年間を通して辛く厳しい環境の中で一本一本集中して稽古出来るかが、試合の大事な局面で発揮出来ることに繋がるのではないかと。

来年こそはこの大会に再び出場し、一勝でも多く勝ち上がれるよう努力したい。

・一回戦

鈴木(福井) ーメ 高橋(千葉)

平成21年度

福井県高等学校剣道新人大会

平成二十一年十一月二十一日

二十三日

於 県立武道館

平成二十一年度の高校剣道新人大会は、インフルエンザの流行の中で、二十一日に個人戦初戦、二十二日に団体戦、二十三日に個人戦決勝までの日程で開催された。

なお、これまで本大会は三月に開催される全国高校剣道選抜大会の予

選会を兼ねていたが、来年度より一月に開催される冬季選手権に予選会が移行することに伴い、選抜大会予選会としては、今年度が最後の大会となる。

大会結果は、以下の通り。

▽男子団体の部

・一回戦

気比 1ー1 福井(代表勝)
武生 2ー2 高志(代表勝)

・二回戦

福井 2ー1 啓新
福井農林 0ー4 金津
北陸 5ー0 羽水
高志 2ー1 美方
敦賀 4ー0 春江工
藤島 5ー0 大野
若狭 4ー1 武生東
丸岡 4ー1 三国

・三回戦

福井 3ー0 金津
北陸 3ー1 高志
敦賀 3ー0 藤島
丸岡 4ー0 若狭

・準決勝

福井 1ー1 北陸(代表勝)
敦賀 3ー0 丸岡

・決勝
敦賀 4ー1 福井



▽女子団体の部

・一回戦

武生 1ー0 高志
気比 3ー1 武生東
敦賀 2ー1 北陸
藤島 1ー0 福農

・二回戦

福井 2ー2 武生(代表勝)
丸岡 3ー0 気比
美方 2ー1 敦賀

- ▽男子個人戦
 - 優勝 渡辺 賢 (福井工大附属福井)
 - 二位 久保田陽介 (敦賀気比)
 - 三位 山田 浩毅 (武生)
 - 高倉 潤 (啓新)
- ▽女子個人戦
 - 優勝 富永 夏帆 (福井工大附属福井)



- ・準決勝
 - 丸岡 2-1 武生
 - 美方 3-0 藤島
- ・決勝
 - 美方 1-1 丸岡(代表勝)

- 二位 木田剣道スポーツ少年団A
- 三位 新風館愛宕坂道場A
- 三位 福井東部少年剣道教室A
- 敢闘賞 栗野剣道教室A
- 敢闘賞 南条・河野スポーツ少年団



▽試合結果
 優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団A

**第28回敦賀市長旗争奪
 福井県少年剣道錬成敦賀大会**
 平成二十一年十一月二十三日(月)
 於 敦賀市総合運動公園体育館

- 二位 北川 藍 (丸岡)
- 三位 野崎 里砂 (福井工大附属福井)
- 野村 江里 (同)

- ▽団体戦
 - 優勝 大聖寺少年剣道教室A
 - 準優勝 敦賀剣道スポーツ少年団A
 - 第三位 栗野剣道教室A
 - 第三位 新風館愛宕坂道場A

平成二十一年十二月六日(日) あ
 わら市トリムパークかなづにおいて、
 第三十回少年剣道芦原大会が開催さ
 れました。

団体戦に五十八チーム、個人戦男
 子の部(六年生のみ)約七十名、個
 人戦女子の部(五年生以上)に約五
 十名が出場し、会場に大勢の保護者
 が応援に駆けつけ、選手は声援を背
 に白熱した試合を繰り広げた。

試合の結果については、次のとお
 りです。

第30回少年剣道芦原大会
 平成二十一年十二月六日(日)
 於 あわら市トリムパークかなづ

特別賞 高井 勇典
 (武道学園剣道教室B)

※特別賞は、五人抜き者です。
 (福井少年剣道クラブA)

- 敢闘賞 五常館A
- 敢闘賞 武道学園剣道教室A
- 特別賞 宮澤 由依 (木田剣道スポ少A)
- 特別賞 橋本 剛司

- ▽個人戦(男子の部)
 - 優勝 村上 幹 (新風館愛宕坂道場)
 - 準優勝 吉野宗太郎 (大聖寺少年剣道教室)
 - 第三位 増永 大夢 (木田剣道スポーツ少年団)
 - 第三位 畠山 朋哉 (今庄剣道スポーツ少年団)
- ▽個人戦(女子の部)
 - 優勝 内山田 楓 (木田剣道スポーツ少年団)
 - 準優勝 宮澤 由依 (木田剣道スポーツ少年団)
 - 第三位 中山 知実 (木田剣道スポーツ少年団)





個人戦 (女子の部)



個人戦 (男子の部)

第三位 八幡 明依 (武道学園剣道教室)

坂井地区剣道大会

平成二十一年十月十八日(日)

於 三国北小学校

▽試合結果

・一部

優勝 丸岡

二位 三国

・二部男子

優勝 三国

二位 丸岡

・二部女子

優勝 リラックマチーム

二位 ガンダムチーム

第19回古城旗争奪剣道大会

平成二十一年十一月三日(火)

於 丸岡南中学校体育館

▽団体の部

優勝 丸岡剣道スポーツ少年団 A

次勝 新風館愛宕坂道場 A

三位 春江剣道連盟 A

三位 武道学園剣道教室 A

▽個人の部

・小学生男子

一位 村上 巧 (新風館愛宕坂道場)

二位 前田 凱斗

三位 村上 幹 (新風館愛宕坂道場)

三位 田中 壮平 (鯖江剣道スポーツ少年団)

・小学生女子

一位 藤田 典乃 (鯖江剣道スポーツ少年団)

二位 水野 有美 (豊神館)

三位 向野 一夏 (三国少年剣道教室)

三位 墨崎 有美 (豊神館)

・中学生男子

一位 堀江 尚史 (春江剣道連盟)

二位 佐々木尚紀 (鯖江剣道スポーツ少年団)

三位 奥出 宇啓 (丸岡剣道スポーツ少年団)

三位 白波瀬智哉 (丸岡剣道スポーツ少年団)

・中学生女子

一位 遠藤 純 (丸岡剣道スポーツ少年団)

二位 吉長 綾香 (吉川スポーツ少年団剣道部)

三位 加藤 有紀 (神明スポーツ少年団)

三位 中森さつき (菅原少年剣道教室)

第40回嶺南剣道大会

平成二十一年十一月三日(祝)

於 大飯町総合町民体育館

▽試合結果

・壮年の部

優勝 三方地区 A

第二位 三方地区 B

第三位 三方地区 C

・一般男子の部

優勝 敦賀地区 A

第二位 敦賀地区 B

第三位 三方地区 A

・一般女子の部

優勝 三方地区 A

第二位 三方地区 B

第三位 美浜町

・高校生男子の部

優勝 美方高校 A

第二位 敦賀高校 A

第三位 敦賀気比高校 A

・高校生女子の部

優勝 美方高校

第二位 敦賀高校

第三位 敦賀気比高等学校

・中学生男子の部

優勝 三方中学校 A



第二位 栗野中学校A
第三位 松陵中学校A

・中学生女子
優勝 三方中学校
第二位 高浜剣友会
第三位 栗野中学校

・小学生男子の部
優勝 きらやまA
第二位 栗野剣道教室A
第三位 高浜剣友会

・小学生女子の部
優勝 敦賀剣道スポーツ少年団A
第二位 西部剣道教室
第三位 きらやまA

第3回小堀源治郎先生記念 剣道大会

平成二十一年十月二十四日(土)
於 若狭町三方体育館

平成二十一年十月二十四日、若狭町三方体育館において第三回小堀源治郎先生記念剣道大会を開催しました。当日は小学生から一般まで一四六名が集い、東西対抗戦を行いました。結果は東軍二十七勝、西軍十四勝(三十五引き分け)。小堀友廣監督率いる東軍が初勝利を収めました。



この大会は、生涯、剣道とそれに勤しむすべての人々を愛し、率先垂範された故小堀源治郎先生のご遺志を受け継ぎ、発展させることを目指して開催し今年で三回目になります。剣道を通して「沈着勇断」の佐久間精神を実践され、人材育成に尽力された先生のご功績を偲ぶとともに、子供から大人までが一堂に会し剣道を楽しむことよって、今後、剣道がますます広がり盛んになることを願いながら今後も続けていきたいと考えています。

全日本官公庁剣道連盟 第41回剣道大会

平成二十一年十月三十一日(土)
於 東京武道館

十月三十一日(土)に、標記の大会が行われました。日本全国より約一二〇チームの参加があり、団体戦と個人戦がトーナメント戦によって行われました。一般の試合としては珍しい試合時間三分間で勝敗が争われ、個人戦においては延長戦の後判定で勝敗が決するルールです。

個人戦に出場した西浦選手は二回戦からの登場でしたが、相手のスピードのある打突に対応できず、力を出し切ることができませんでした。団体戦一回戦は、特に高嶋選手、



志尾選手、伊川選手の活躍が素晴らしく、思い切りのある打突を繰り出し、東京国税局に快勝しました。二回戦では相手の力が勝り残念な結果に終わりましたが、「なら積層材による木質クッション床」の素晴らしさを感じながら、のびのびと剣道することができました。関係各位に感謝を申し上げます。

▽団体戦

・第一試合
東京国税局 1-3 福井県庁

・第二試合

宮城刑務所 4-1 福井県庁

▽個人戦

・二回戦

西浦 宗志 | メメ 八十島隆輔
(福井県庁) (富山市役所)



みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

勝山市剣道連盟

組織構成

会長 朝井 直正

副会長 方堂 富雄

理事長 佐藤 義行

事務局 前川 誠

他会員 七名

年間事業

月曜日 スポーツ少年団

水曜日 スポーツ少年団

金曜日 連盟会員スボ少合同稽古

各期 昇段受審者強化教室

夏季 初心者普及教室

六月 市民体育大会剣道競技会

六月 級位認定審査会

活動概要

七月 連盟会員スボ少合同合宿

十二月 級位認定審査会

月・水曜日はスポーツ少年団の指導者四名、団員十四名で、明鏡止水の旗の下に心技体を磨いています。

金曜日は連盟会員・スボ少合同稽古で、昇段を目指す中高校生の参加もあり活況を呈しています。

市民体育大会は小学生低学年、高学年、中学生、高校一般の四部門での個人戦です。

級位認定審査会を年二回開催して技量を審査し、以後の稽古の励みとなるように評価しています。

合同合宿は例年九頭竜国民宿舎や和泉体育館で行い、厳しい稽古の反面、楽しい食事のひと時もあり、みんなが待ち望む行事となっています。

沿革

昭和二十九年大野郡北十ヶ村の合併で勝山市が誕生し、翌年勝山市剣道連盟が発足しました。それ以前は教育指導に当たる方を中心に学校施

設や警察武道場（現・市営武道場）で稽古を積んでいましたが、協会とか連盟といった団体名はなく、郡北剣道大会の運営に協力するといった形で相互に連絡を取っていたようです。その大会が市民体育大会の一競技会に改編される中で、主管団体の必要性が叫ばれて結成されました。昭和四十年代には特筆すべき大会「鈴木定七杯剣道大会」が小中学生を対象に始まりました。幕末の剣豪、新真影流の英傑鈴木定七が勝山藩指南役を勤め大いに剣術の隆盛を見ました。今も平泉寺の縣額にその跡を見ることが出来ます。此のことを顕彰して始まり十六回を数えましたが、会員数の減少で運営が困難となり途絶えてしまったことが残念です。

平成の現在、会員数の減少や少年団員の減少などに直面し、事業運営や選手構成に困難な場合もあります。連盟員の協力の下に何とか乗り越えています。

福井工業大学剣道部

福井工業大学剣道部は、現在指導者四名、学生三十四名の計三十八名で活動しています。私達の第一の目標は『全国制覇』。しかし、勝利を追求することもさることながら、卒業後に指導者として剣道普及に貢献



できる人材の育成を念頭に掲げて稽古をしております。そのために、基本に根ざした正しい剣道を身につけるのはもちろんのこと、剣道のみでなく、日常生活や勉学においても自分自身の立場を考え『やるべき全てのことを全力で遂行できる』自立した大人になることをモットーとしています。

稽古は二時間程度。①足捌き素振り、②追い込み基本技、③地稽古の順で行っています。足捌きと素振りでは、剣道の基礎を確認しながら、剣道に必要な筋力・体力を身につけます。追い込みと基本技の稽古

では、その基礎を確実に再現できる
よう何度も反復します。そして、こ
れらの稽古で学んだことを実践で活
かすため、地稽古の中で各自が創意
工夫しながら自分のものにしていき
ます。稽古は厳しいですが、学生達
は自分たちで道場の気を盛り上げ、
切磋琢磨し日々剣道を楽しんでいま
す。

今年も、十月に日本武道館で開催
された全日本学生剣道優勝大会に出
場しました。一回戦を勝ち抜きま
したが、二回戦で中央大学に敗れ涙を
飲みました。惜しい場面も多々あり
ましたが、関東の強豪校を前に、こ
れまで培ってきた力を発揮すること
ができませんでした。今後は、相手
に臆することなく、どんな状況にあつ
ても自信を持って自分を出し切ると
いうことが重要な課題です。また、
部員・指導者一丸となって頑張りま
す。

現在は部員の大半が県外出身者で
ありますが、福井剣人としての誇り
を胸に精進して参りますので、今後
ともあらゆる方面からのご指導をよ
ろしくお願い致します。

【役員名】

- 部長 山田 健治
- 男子監督 小原 正豊
- 女子監督 道内由佳里

- コーチ 相馬 友
- 主将 横山 文彦
- 主務 内田 一成

【年間行事】

- 五月 北信越学生剣道選手権大会
西日本学生剣道大会
- 七月 全日本学生剣道選手権大会
- 八月 夏季強化合宿
- 九月 北信越学生剣道優勝大会
前期スポーツ推薦セレク
ション
- 十月 全日本学生剣道優勝大会
- 十一月 北信越学生剣道新人大会
後期スポーツ推薦セレク
ション
- 一月 中部理工系大学高専剣道大会
- 三月 春季強化合宿

【活動日時】

- 月々金曜 午後六時～
- 土曜 午後一時～

【活動場所】

- 福井工業大学 武徳殿二階剣道場
(福井市学園三丁目六の二)

坂井剣道スポーツ少年団

坂井剣道スポーツ少年団は、昭和
五十九年に町より剣道教室の依頼が
あり、この機に坂井剣道クラブとし



て発足、昭和六十二年に坂井武道館
が坂井中学校の西隣に完成し、翌年
四月には小学生四十八名の入部があ
り、当クラブは坂井少年剣道クラブ
として活動する事になりました。現
在は、坂井剣道スポーツ少年団とし
て活動、団員十一名、週三回、月・
水・土曜日の午後六時から八時まで
稽古しています。

剣道を指導する中で子どもによく
言い伝えているのが「継続は力なり」
「努力に勝るもの無し」と言う事です。
自分に負けない心を少しでも剣道を
通して養えたら、と思っっています。
稽古は基本中心で正しい剣道を目

指して一生懸命がんばっています。
指導者として、私自身も稽古に励み、
精進していかねばと思っています。

ここ数年、団員減少が著しく、現
在、保護者会の皆さんが団員増員の
為にポスターを作成し、小学校や公
民館等にポスター掲示のお願いを行っ
ているのが現状です。

指導者 豊福 安治

渡辺 大介

保護者会 会長 伊阪 雅治

副会長 加藤 隆弘

会 計 寺澤 慎治

みのり剣道スポーツ少年団

当少年団は、福井市剣道連盟に所
属し、昭和五十年に創部、現在団員
十六名、指導者六名で、常時活動し
ている指導者は三名。内女性指導者
一名と団員の母親(団員と一緒に剣
道を始めた。)一名が主に初心者
指導に当たっています。団員は六年
生二名・五年生一名の上級生が四年
生四名・三年生五名・二年生二名・
一年生二名の下級生をまとめ、毎週
木曜日および第一・三・五土曜日の
午後七時から九十分間豊小学校体育
館二分の一を使って和やかなうちに
も礼儀を重んじ基本を重点に練習し

(豊福 安治 記)



ています。
 現在は、本年入団した七名が防具を自分でつけられるよう一生懸命です。年間行事は、母集団を中心として、春秋のレクリエーション、夏休み中に一泊の合宿、年の初めの鏡開き、六年生に対するお別れ会等を行っています。

代表指導者 山本 興治
 副代表指導者 清水 義久
 母集団長 吉田美佐子

越前少年剣道クラブ

稽古場所 越前町営越前体育館
 稽古日 毎週火・木曜日
 (十九時半～二十一時)

毎週土曜日

(九時～十一時)

指導者 梅野 秀一、伊藤 和博
 岩本 良信

越前少年剣道クラブは、昭和五十二年に旧越前町の中央公民館の落成を機に始められた剣道教室を前身に、今年で三十三年を迎えます。

当クラブ(小学生十一名、中学生四名)のモットーは浜っ子らしい元気な剣道をして、武道としての剣道を楽しく学ぶことです。数年前から競技力のアップを目指して稽古回数を増やしてきて、現在では週三回の稽古を行っています。近年は県内外の大会にもできるだけ参加し、少しずつですが成績も向上してきています。今年度は、ジュニア育成の先生方のお陰もありまして小荒浩夢くんが、県選抜選手として全国大会の出場を果たし、クラブ内でも次に続けとばかりにみんな頑張っています。また、保護者の熱心な努力によりまして、越前中学校に剣道部が創られるなど、当クラブにとっては本当にいい一年となりました。



ただ、過疎化による子どもものの減少でクラブ員の確保が大変ですが、剣道の面白さや楽しさ、カッコよさを地域に広めながら、クラブ員や保護者と一緒になって今後とも盛り上げていきたいと思っています。

(梅野 秀一 記)

今立剣道スポーツ少年団

今立剣道スポーツ少年団は、「一、剣道をします」「二、勉強をします」「三、強い心と体を作ります」を綱領としています。越前市南越中学校の武道場をお借りして、毎週火曜と土曜の夜、七時～八時半まで、試合

で気迫のこもった一本が取れるように、繰り返し繰り返し基本稽古に打ち込んでいます。
 相手の技を受ける際も、決して目を離さずしっかり見届ける。相手が技を打ちやすいよう工夫する等、常に相手のことを思う気持ちを忘れずに指導に当たっています。

団員は現在十名と少ないですが、年間行事としては、福井錬成大会・武生錬成大会・丸岡古城旗大会・芦原大会等に参加し、剣道以外では育



成会の協力の下、団員の家族も含めての日帰り旅行・夏の花火大会・秋の山登り・クリスマス会等で、指導者・団員・保護者の親睦を深めています。

今年の年末には、有効打突部位に風船をつけて試合をしようかと計画中です。

(岸下 俊宏 記)

西部剣道教室

稽古場所

若狭町立梅の里小学校体育館

稽古日

毎週木曜日

・五月〜十月

七時三十分から9時

・十一月〜四月

七時から八時三十分

西部剣道教室は、若狭町立梅の里小学校全生徒五十九名のうち、一年生から六年生までの二十名による剣道教室の参加者と山田豊、安藤良信、久保権治、浜松紀衣の四名の指導者で活動をしています。

西部剣道教室の子ども達はやさしい子が多く、勝負どころでそのやさしさが出てしまいうこともありますが、海・山・



湖・梅林といった豊かな自然に囲まれて育っており、厳しい稽古の中でも、のびのびと日々成長を遂げておられます。最近では五、六年生を中心に、三方地区剣道連盟の稽古会にも積極的に参加し、少しずつ力をつけてきています。また、中学・高校でも剣道を続けている西部剣道教室出身の先輩達も稽古によく参加してくれるようになり、指導者不足の中に「先輩が後輩を育てる」という地域に根ざした西部ならではの活動を行い、周りの人々に感謝しながら地域一体となつて稽古に励んでいます。西部剣道教室は日頃から『稽古は試合のように、試合は稽古のように』

と指導をしておりますが、『心』という旗をかかげ、剣道を通じて挨拶や返事を始めとする、正しい礼儀作法を身につけ、苦しい時こそ励まし合い、仲間を大切に思う心を持った子ども達に育って欲しいという思いをもって指導を続けております。私どもは剣道を好きになることが、一番の上達の方法だと考えています。剣道を好きになつて、中学・高校へ進んでも剣道を続けてもらえようように、今後も努力を重ねていきたいと考えています。

(浜松 紀衣 記)

大東中学校剣道部

大東中学校剣道部は、過去に輝かしい先輩の活躍があります。全国中学校体育大会において、平成四年に男女ともに三位、平成六年に男子が敢闘賞を受賞しています。現在公式戦で着けている赤胴は、その時につくられたものです。また、練習で使用している手ぬぐいには、「一心不乱」という文字が書かれています。剣道の稽古ばかりでなく、学習や学校生活全般においても、やるべきことはきちんと行い、何事にも集中して取り組もうという願いが込められています。

現在部員は男子十五名、女子五名



です。専用の道場がなく、平日は週三日しか体育館で練習ができませんが、先輩から受け継がれている「一心不乱」の言葉を忘れず、中身の濃い練習に心がけています。また、土日の練習には、本校出身で全国大会に出場した山内雅栄先生を招いて、技の練習だけでなく、練習や試合に対する心構えも教えていただいています。

本校出身の先輩方の活躍には到底及びませんが、日々お世話になつていらっしゃる家族の方々、諸先生方、先輩方に対する感謝の気持ちを持ちながら、稽古に励んでいきたいと思っております。

藤島高等学校剣道部

現在、一・二年生男子五人、女子四人の合計九人の部員で活動しています。活動時間は、五時から六時半までの一時間半です。岡田盛先生、南部泰啓先生、渡邊久暢先生、熊野智子先生、山本寛の五人が指導にあたっています。

日々の練習で、「不動智」（疑いや迷いを去っていかなることにも動じない心。）を養い、何があっても自分を信じ、仲間を信じ、チームを信じて、自分のやるべきことをきちんとやれる人間に大きく成長すること



を目標にしています。

先日の新人大会では、女子が三位に入賞し、北信越大会に出場させていた、たくことになりました。何事にも動じない強い心で、精一杯戦ってきたいと思います。

県内の中学生の皆さん、私たちと一緒に楽しく部活動をしましょう。本校剣道部への入部を心よりお待ちしております。

（顧問 山本 寛 記）

武生東高等学校剣道部

本校剣道部は、開校二年目の昭和六十三年の創部で、昨年度に創部二十周年を迎えました。創部当時は、

指導者もおらず、武道館が建設されていなかったこともあり、活動場所は、武生市武道館（現 越前市武道館）を主な活動場所とし、地区剣連の加藤覚太郎先生を指導者として活動を行っていました。その後、西川讓先生が赴任してからは、校舎敷地内の屋外広場を稽古場所とし、雨が降れば体育館ステージを稽古場所としたこともあったと西川先生より聞いています。その後、校内に専用の武道館も建設されてからは、様々な顧問の先生の熱心なご指導の下、武生東高校剣道部は北信越大会にも数多く、出場するなど県下有数の実力



録自撮

校として活躍しました。

現在、部員は、昨年の春季総体後より八名（男子五名・女子三名）となり、人数的には盛時と比較するべくもありません。しかし、部員達は自ら練習メニューを考えて試行錯誤を繰り返して、大会前には越前市武道館へ出稽古に行くなど、主体的かつ向上心を持って日々の稽古に取り組んでいます。

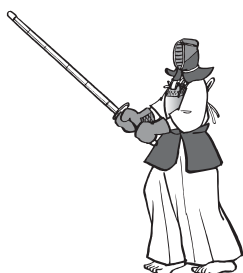
練習は、平日は七限授業のため、午後五時から六時半まで（七時完全下校）練習は、足捌きや素振り、切り返し、打ち込みなどの基本練習を中心に、基本を大事にする練習方針

で稽古を行っています。課外授業や模擬試験など、活動面で進学校であるが故の様々な制約がある中で、限られた時間の中でいかに稽古に集中し、稽古の実をあげていくことが、これからの課題であると思います。

なお、生徒が日々の稽古に取り組めるのも、武道館で適切な指導をして下さる地区剣道連盟の先生方の存在や、遠征や大会参加等を、昔から陰に日向に支えて下さっている堂前先生のご支援があつてのことです。各先生方には、この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

今後も、自分たちの活動を支えてくれる多くの人への感謝の思いを忘れず、剣道を通じて人間的に大きく成長できるような部活動でありたいと思います。

（板垣 憲治 記）



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十一年十二月十三日

福井県立武道館

「初段」三十五名

- 石田純平(大東中)
- 見沢亮丞(芦原中)
- 前田裕文(丸岡南中)
- 岩泉直都(鯖江中)
- 山本高央(清水中)
- 門口大嗣(武生第二中)
- 窪田太一(金津中)
- 阪下義仁(武生第二中)
- 大橋祐也(武生第一中)
- 飯田直倫(池田中)
- 高木亮真(附属中)
- 角谷幸弥(藤島中)
- 小原侑大(武生第二中)
- 南原寿範(森田中)
- 山下涼輔(藤島中)
- 小川智己(足羽第一中)
- 竹内和也(大東中)
- 青山直紀(藤島中)
- 木本涼哉(松岡中)
- 森崎千晶(今庄中)
- 牧野淳(丸岡中)
- 加藤俊隆(福井地区)
- 藤間翔(三方中岬分校)
- 吉田樹美恵(足羽第一中)
- 柴野春香(明倫中)

「二段」二十三名

- 吉村光香子(足羽第一中)
- 若宮莉彩子(武生第六中)
- 吉村美穂(明倫中)
- 岩佐明莉(足羽第一中)
- 清水麻由(大東中)
- 三好光子(藤島高)
- 岩佐万希子(藤島高)
- 芝田萌乃(藤島高)
- 小林愛実(県立大)
- 佐々木広美(大野地区)
- 軽部有輝(鯖江中)
- 今村駿介(丸岡中)
- 笹木岳志(中部中)
- 木村侑翔(明倫中)
- 杉本陸(高志高)
- 鰐淵公基(啓新高)
- 塚本彬文(気比新高)
- 渡邊政仁(啓新高)
- 酒本尚紀(高志高)
- 中村武大(武生高)
- 大越覚(啓新高)
- 青木俊介(福井農林高)
- 池田光希(福井高専)
- 河原友輝(気比高)
- 木下祐介(福井高)
- 土屋宏起(県立大)
- 高木寿茂(福井大)
- 平田隆幸(福井地区)
- 松坂優汰(気比高)
- 平井遥(藤島高)

「参段」十二名

- 齋藤加奈子(福農高)
- 木瀬真理子(高志高)
- 水野洋子(鯖江地区)
- 坂本拓弥(北陸高)
- 増田一燦(北陸高)
- 加藤優幸(北陸高)
- 出店理成(高志高)
- 内田一成(福井工大)
- 堀越謙史(福井工大)
- 平山聡(越前地区)
- 長田宏(福井地区)
- 堀端愛(啓新高)
- 高木郁実(金沢大)
- 藤田百合子(仁愛大)
- 宮口茉依子(敦賀地区)

「四段」四名

- 西山俊洋(福井工業大)
- 宮田知徳(福井地区)
- 深川晃(三方地区)
- 橋本一美(坂井地区)

「五段」四名

- 西川航平(南条地区)
- 森本邦彦(警察官)
- 渡辺大介(坂井地区)
- 龍野篤朗(福井地区)

平成二十一年十一月十四日(土)
名古屋枇杷島スポーツセンター
「七段」一名
大嶋雅典(越前市)

平成二十一年十一月十五日(日)

「六段」三名

- 澤田泰治(南条地区)
- 万所央(越前市)
- 横山栄二(坂井地区)

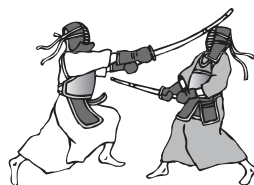
お詫びと訂正

福井県「剣道だより」65号
(3)ページに掲載のお名前に間
違いがありましたので、訂正を
いたします。

誤 遠山訓子

正 遠山証子

大変失礼をいたしました。謹ん
でお詫び申し上げます。



ペンリレー 女性剣士の部屋



敦賀市剣道連盟

宮口茉依子

中嶋 美奈

私達が剣道を始めたのは中学生の時でした。私達に通っていた中学校では当時女子部員だけが、今では団体戦を組むのも難しいと聞き、残念な気持ちで一杯です。

お互い高校でも剣道をしたという気持ちはありませんでしたが、仲間の多い環境に慣れてしまっていた為、皆別々の高校に入り、今までの仲間がいない不安感と新しい環境に一人で飛び込む勇気がなく、挫折してしまいました。

それでも剣道がやりたいという思いを断ち切れず、社会人になり、ご縁もあって敦賀市剣道連盟で剣道をさせていた、たく様になりました。

元々私達は中学の部活あがりなので、正直初めは武道館の敷居は高い様な気がして、行くのに躊躇した時期もありました。でも、その悩みがちっぼけに思えたくらい先生方は優しく熱心に指導してくださいました。そして週一回だった稽古が二回、三



回と増えていく様になりました。また、教わる側だけでなく、同じように稽古に励む子供達と剣を交えることで気づかされる事も多々あります。そして、先生方と共に子供達を傍で支えている保護者の方々からも、これから自分達が親として経験していくであろう多くのことを学ばせていただいています。

今は同世代や下の若い世代の剣士が少ないのが現状です。経験者でも初心者でも気兼ねなしに一緒に稽古出来る環境づくりに、少しでも貢献できたらと思います。

平成22年2月～3月 事業計画

| 期 日 | 曜日 | 事 業 名 | 場 所 | 開 催 者 | 備 考 |
|-----------|-------|------------------------------------|------|--------|----------|
| 2 / 6 ~ 7 | 土 ~ 日 | 北信越高校剣道新人大会 | 砺波市 | 北信越高体連 | 午前9:00から |
| 7 | 日 | 第4回福井県ジュニア育成強化剣道大会 | 県武道館 | 県剣連 | |
| 11 | 木(祝日) | 世界一剣道教室 | 県武道館 | 県剣連 | |
| 14 | 日 | 剣道段位審査会 | 越前市 | 県剣連 | |
| 21 | 日 | 居合道合同稽古会 | 越前市 | 県剣連 | |
| 21 | 日 | 第25回北陸三県少年剣道錬成大会 | 県武道館 | 県道場連盟 | 午前8:30から |
| 3 / 6 | 土 | 常任理事会 (AM 10:00) 審議会 (PM 13:00) | 県武道館 | 県剣連 | |
| 21 | 日 | 理事会・評議員会 | 福井市 | 県剣連 | |
| 27 ~ 28 | 土 ~ 日 | 第19回全国高校剣道選抜大会 | 愛知県 | 全国高体連 | |
| 27 ~ 29 | 土 ~ 月 | 第32回全国スポーツ少年団剣道交流大会 | 徳島県 | 日体協 | |

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL (0776)28-6616

水止鏡明

勝山市剣道連盟

会長 朝井 直正
副会長 方堂 富雄
理事長 佐藤 義行
事務局 前川 誠

勝山市剣道スポーツ少年団
団員募集中!

